

平成 25 年度事業報告書

2013 年 4 月 1 日から 2014 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人キドックス

1 事業の成果

主に、以下の事業を実施した。

- ・青少年への社会参加支援事業の実施
- ・引きこもりの若者向けの就労支援事業の実施
- ・犬の家庭犬トレーニングや各種ケア、保護犬譲渡促進事業
- ・講演活動、メディア取材対応など

●2013 年度受け入れ若者 合計 9 人 うち、就労 5 名 就職活動中 1 名 経過不明 3 名

●2013 年度受け入れ保護犬 合計 5 頭 うち 1 頭譲渡

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位: 千円)
捨て犬の保護や譲渡を促進する事業	保護犬に家庭犬トレーニングを行い、里親家庭を見つかりやすくする。また、譲渡会を企画運営した。	(A) 週 2～5 回 (B) キドックスファーム (C) 5 人	(D) 犬をこれから飼いたい全ての世帯 (E) 不特定多数	324
捨て犬の保護やケア活動を行う他団体のサポート事業	犬を保護している動物愛護団体と協力し、その団体の保護犬に家庭犬トレーニングを行うとともに、譲渡会を実施した。	(A) 週 2～5 回 (B) キドックスファーム (C) 5 人	(D) 犬を保護している愛護団体の方々 (E) 1 団体	0
若者たちの自立支援・職業訓練事業	保護犬の世話やトレーニングを通じて、引きこもりや不登校の若者へ自立サポートを行った。活動の中で適宜職業訓練の教育も行った。また、若者	(A) 週 2～5 回 (B) キドックスファーム (C) 5 人	(D) ひきこもりや不登校の若者 15 歳～39 歳 (E) 9 人	502

	のコミュニケーション訓練の一環として、老人ホームへのセラピードッグ訪問活動も行った。			
子ども達への道徳教育・動物愛護教育・自立支援教育事業	学童期～高校生の子ども達が、犬を通じて命の大切さを学べる教育プログラムを実施した	(A)年7回 (B)各教育機関やキドックスファーム (C)5人	(D)学童期～高校生の子どもたち (E)約380人	20
若者自立支援 ドッグプログラムの企画・運営・コンサルティング事業	ドッグプログラムをみたい・興味があるという方へのコンサルティングや見学受け入れ	(A)月1～2回 (B)キドックスファーム (C)1人	(D)活動に興味がある全ての人 (E)15人	0
若者自立支援 ドッグプログラム広域的普及のための啓発活動及び講演事業	ドッグプログラムの具体的内容や成果・実績についての講演会の実施、新聞・ラジオ・テレビ等メディアからの取材の受け入れ	(A)年6回 (B)キドックスファーム (C)1人	(D)活動に興味がある全ての人 (E)不特定多数(視聴者等)	0